

■カトリック稲佐いなさ教会 オルガン情報【2021年3月末現在】

□所在地:長崎市稲佐町18-17(電話 095-861-0747) ※オルガン担当:大林(おおばやし)

□主任司祭:小瀬良(こせら)神父様 □駐車場:あり

■通夜式(聖堂通夜)の曲番曲目(信徒会館の通夜では、オルガン演奏は無し)

※2021年1月~聖歌の歌唱を全てとりやめています。以下は平常時の聖堂通夜の進行。

- ①開式…典 82『神を敬う人の死は』歌唱 → ②司祭による聖書朗読(司祭の説教はありません)
- ③聖書朗読①・②・④・⑤…信徒会館での通夜はオルガン設備がないため朗読後はすべて司祭先唱で唱えているが、聖堂通夜の場合は聖歌歌唱になるかもしれません。司祭に確認を。

【参考】稲佐教会での朗読後の詩編

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ①創世記/『神よあなたのいぶきを』 | ②ヨハネによる福音/『神の注がれる目は』 |
| ④ヨハネによる福音/『神の計らいは』 | ⑤ヨハネの黙示/『神は私を救われる』 |

④灌水献香…平常時も聖歌なし、オルガンも無し

⑤遺族挨拶 → ⑥結びの祈り・司祭退堂…『主よみもとに』を歌唱 → ⑦閉式

■告別式の曲番曲目

※2021年1月~聖歌歌唱なし。オルガン演奏のみ適宜。

- ①開式…カ581『レクイエム』(コロナ禍で聖歌歌唱なし、演奏のみ)
- ②答唱…コロナで歌唱せず唱える(平常時は典 144『谷川の水をもとめて』)→アレルヤ唱…コロナで歌唱せず唱える(典 275-1) ※詠唱期間は典 261-13
- ③奉納…コロナ禍で現在聖歌なし(平常時は、典128『主を仰ぎみて』)
- ④感謝の賛歌…コロナ禍で現在は歌唱せず唱える(平常時は、典 216)
- ⑤信仰の神秘、キリストによって、主の祈り、はコロナで歌唱せず唱える(平常時は司祭に要確認)
- ⑥平和の賛歌…コロナ禍で現在は歌唱せず唱える(平常時は、典 217)
- ⑦聖体拝領…典 46『神の注がれる目は』、典82『神を敬う人の死は』、カ107『主にまかせよ』など(コロナ禍で聖歌歌唱なし、演奏のみ適宜入れる)
- ⑧告別式…コロナ禍で聖歌なし(平常時は、カ442『やさしきみ母』を2番まで)
- ⑨灌水献香、献花…灌水献香は小音量で演奏、献花は通常音量で演奏を適宜入れる(平常時も同じく演奏のみ。献花は『いつくしみ深き』、『主よみもとに』、『主は豊かなあがないにみち』など)
- ⑩閉式…カ 660『神ともにいまして』(コロナ禍で歌唱無し、演奏のみ)

■オルガンメーカー、型番、オルガンの立ち上げ方・落とし方、音色など

□メーカーや型番:アーレン C-2 ※鍵はかかっていません

- ① まずオルガンの電源コードをコンセントに差し込む。次にオルガン右の電源(①)を ON にする。
- ② すると左『TRANSPOSE』(②)のランプが赤く点灯して消え、再び点いたら音が出る状態に。
- ③ 音色はキーボード中間部にある1番(③)が基本。楽譜はオルガン左の棚、黒のファイルを参照。
- ④ 使用後は音色ボタン横の一番右『CANSEL』(④)を押し、電源(①)を落としコンセントから抜く。



栄光オルガンネット